



2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年8月10日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

2. 2024年3月期 第1四半期実績

1. 事業概要

事業概要

会社概要

商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年 5月 1日
設立	1918（大正7）年 6月 26日
従業員数	610名（連結）

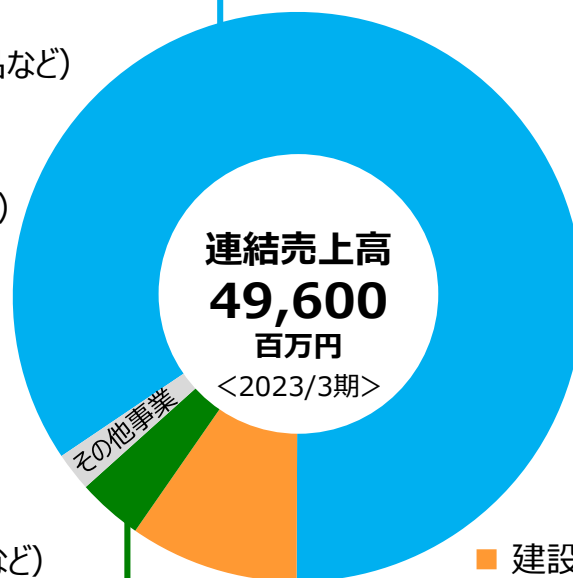
<2023年3月31日現在>

化成品事業 41,918百万円／84.5%

- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

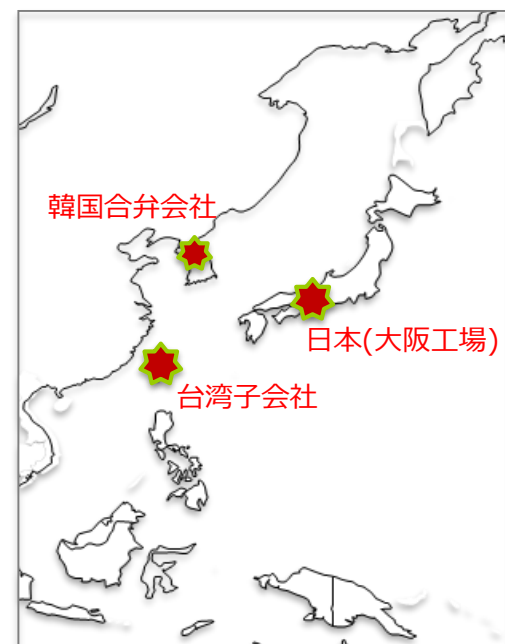
- 化合物半導体向け高純度無機素材
（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 1,830百万円／3.7%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

機械事業 4,739百万円／9.6%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2024年3月期 第1四半期実績

2024年3月期 第1四半期 決算概要

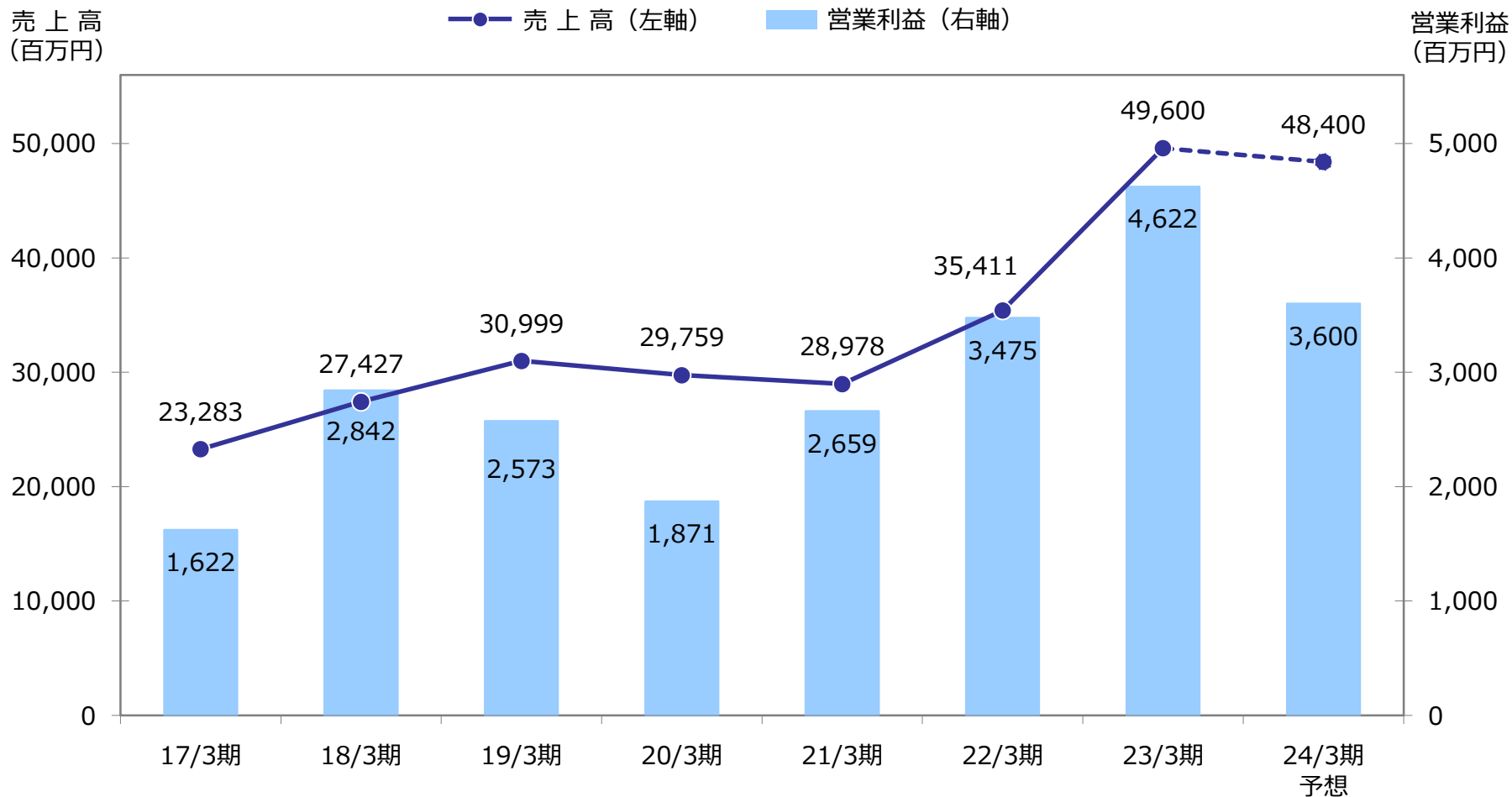
- 売上高は、化成品事業、電子材料事業において半導体市況の悪化により減収。機械事業は増収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、53.3%の大幅減益。

(単位：百万円)

	2023/3期 第1四半期	2024/3期 第1四半期	増減	前年同期比	第2四半期 予想	通期予想
売 上 高	12,110	10,380	△ 1,730	△ 14.3%	22,800	48,400
営 業 利 益	1,392	650	△ 742	△ 53.3%	1,500	3,600
経 常 利 益	1,507	665	△ 842	△ 55.8%	1,500	3,600
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,011	545	△ 466	△ 46.1%	1,150	2,600
(減価償却費)	448	463	15	3.3%		

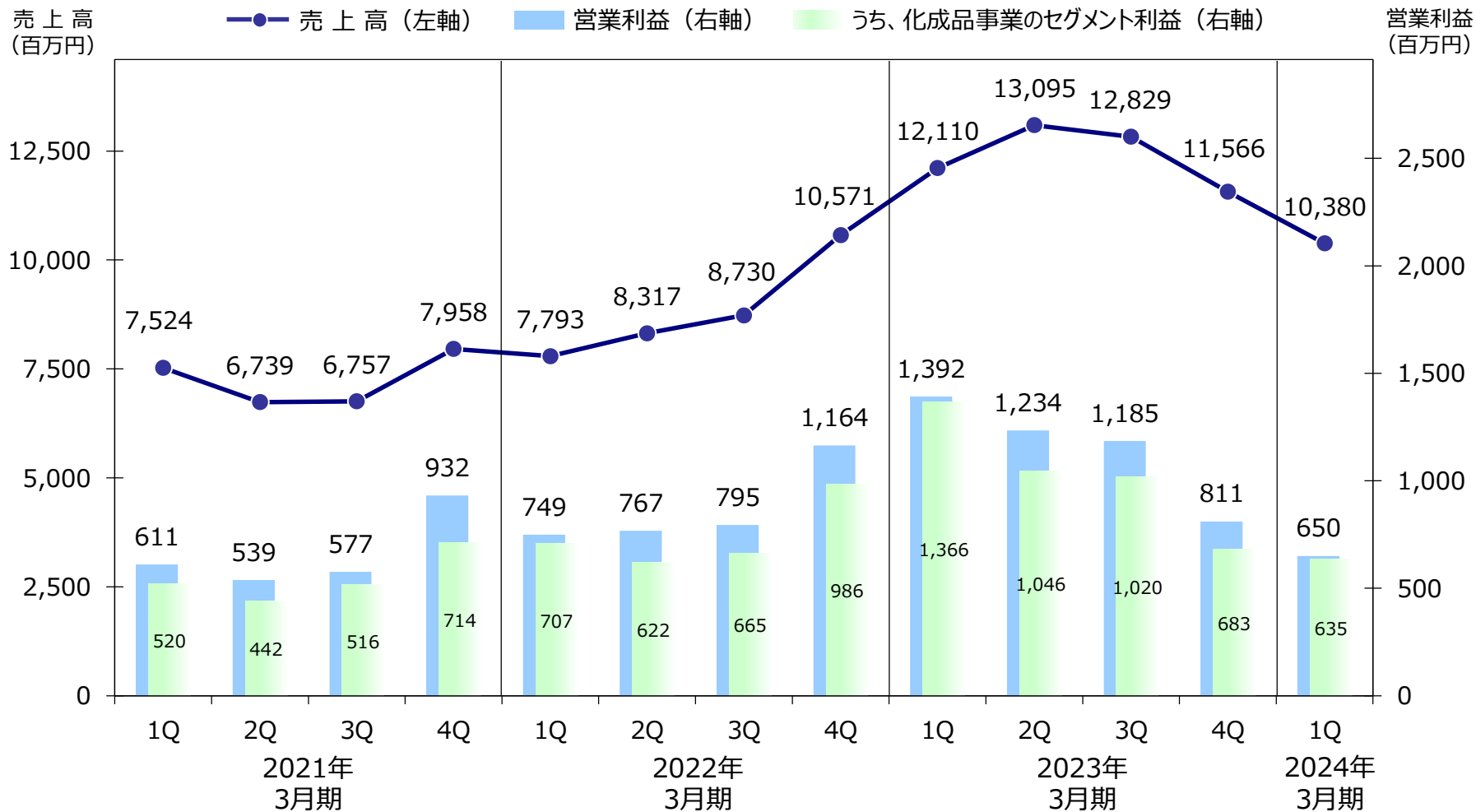
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

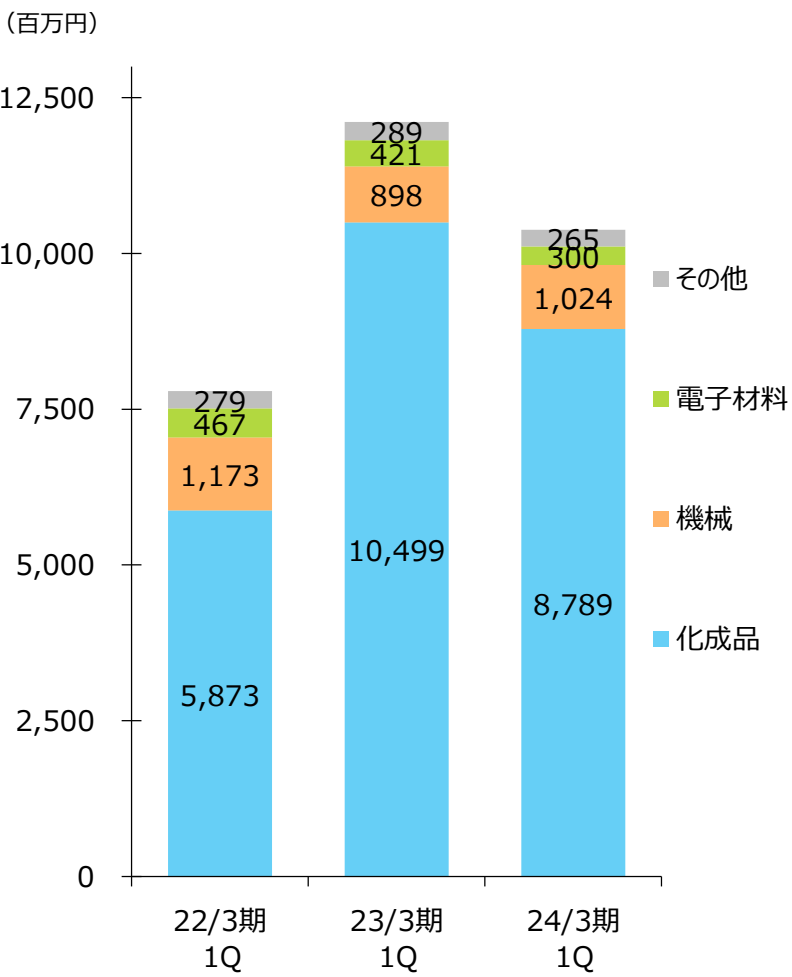
四半期売上高と営業利益の推移



2024年3月期 第1四半期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

	2023/3期 第1四半期	2024/3期 第1四半期	増減	前年 同期比
化 成 品	10,499	8,789	△ 1,710	△ 16.3%
機 械	898	1,024	126	14.0%
電 子 材 料	421	300	△ 121	△ 28.7%
そ の 他	289	265	△ 24	△ 8.2%
合 計	12,110	10,380	△ 1,730	△ 14.3%

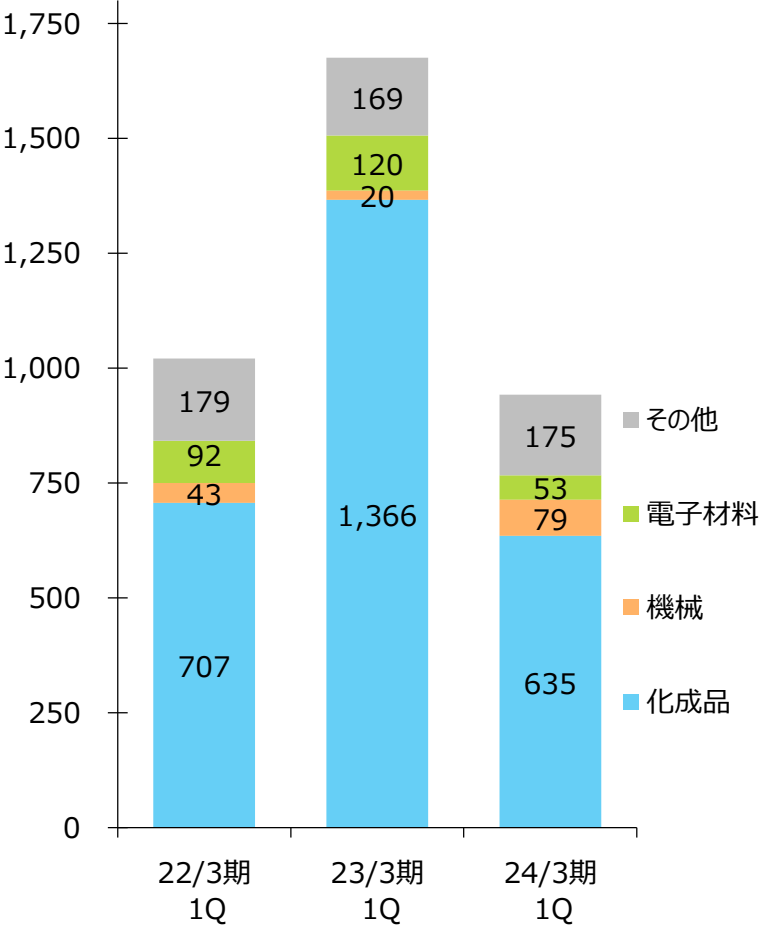


2024年3月期 第1四半期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

(単位：百万円) (百万円)

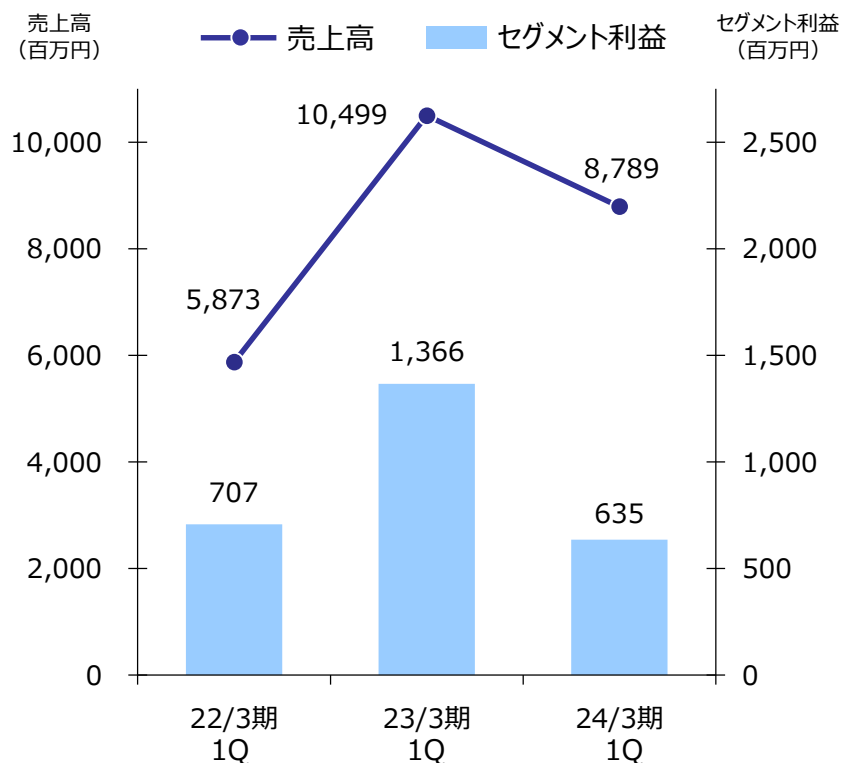
	2023/3期 第1四半期	2024/3期 第1四半期	増減	前年 同期比
化 成 品	1,366	635	△ 731	△ 53.5%
機 械	20	79	59	295.7%
電 子 材 料	120	53	△ 67	△ 55.6%
そ の 他	169	175	6	3.4%
(調 整 額)	△ 283	△ 293	△ 10	—
合 計	1,392	650	△ 742	△ 53.3%



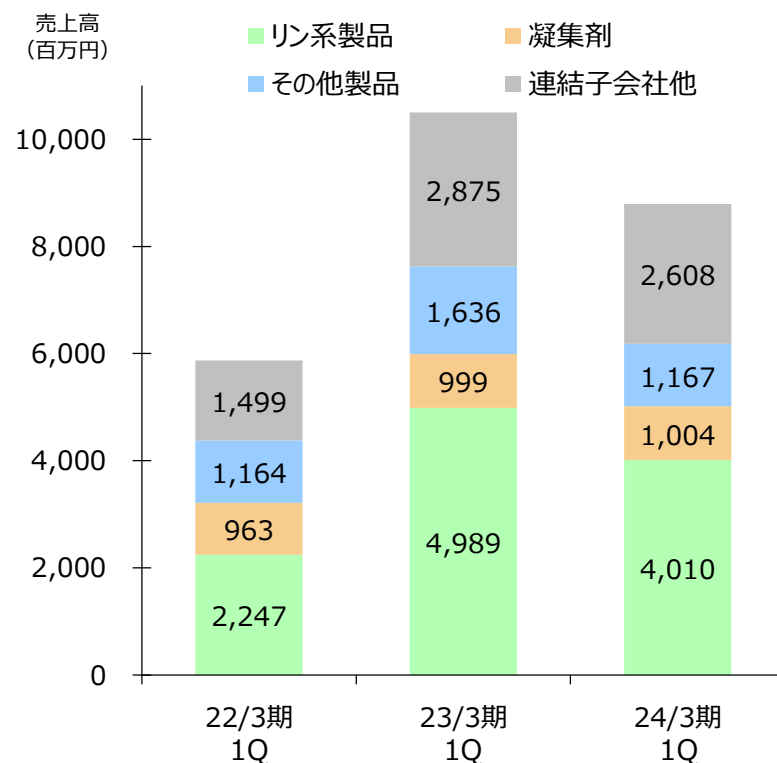
化成品事業

- リン系製品は、半導体向け高純度品が、市況の悪化を受け国内外共に減収（連結子会社分を含む）。
- 凝集剤は、上水道向け製品が増収、電子部品のエッチング用途向けが減収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、調整局面の継続による販売数量の減少により大幅な減収。
- 営業利益は、半導体・電子部品関連市況悪化による販売数量減を主因として、53.5%の大幅減益。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

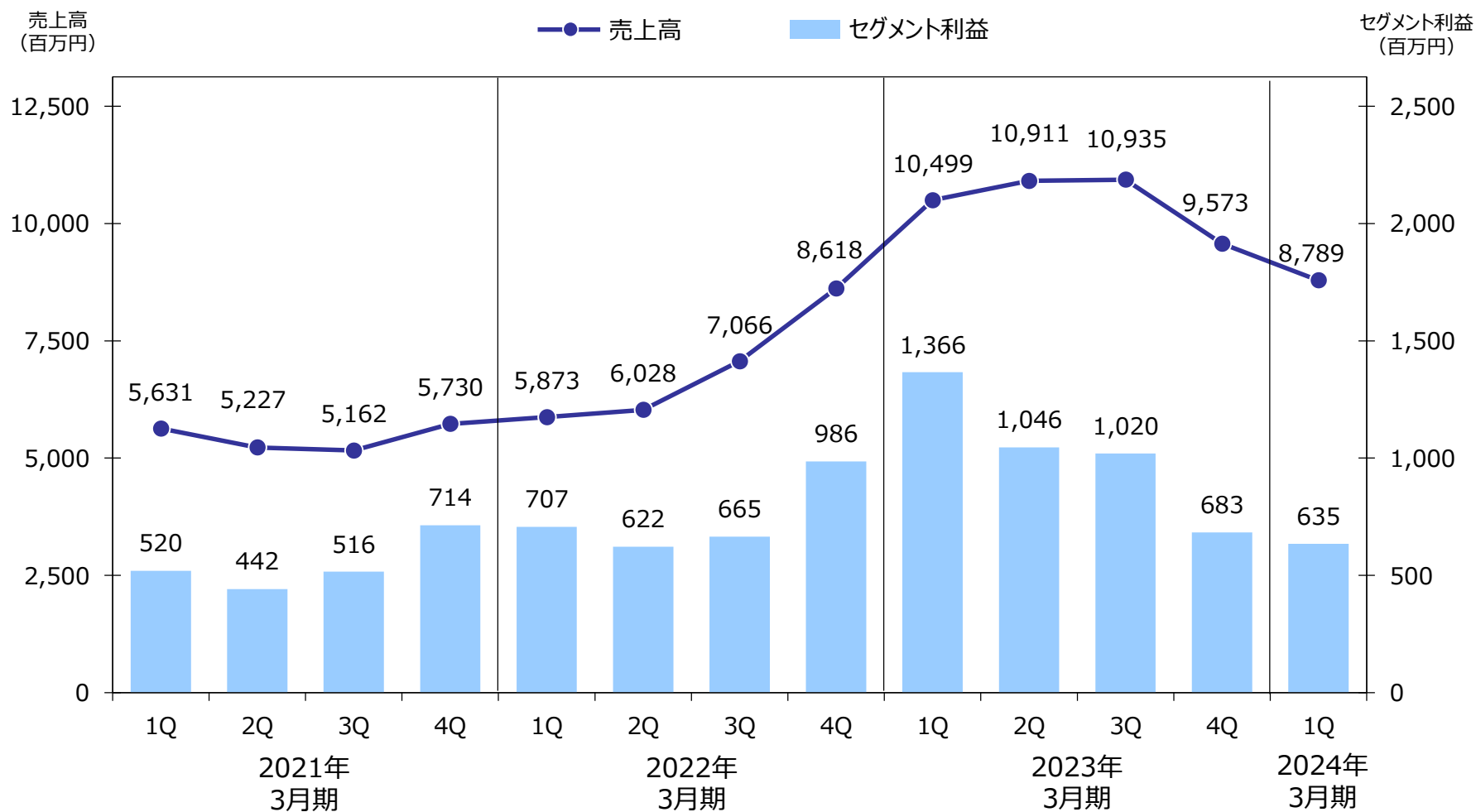


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

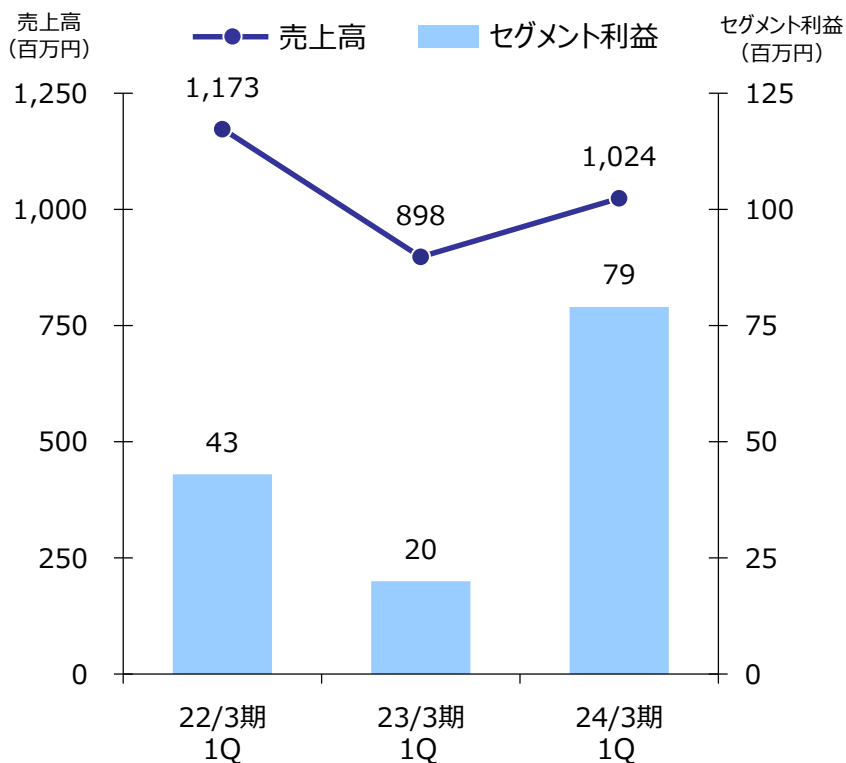
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



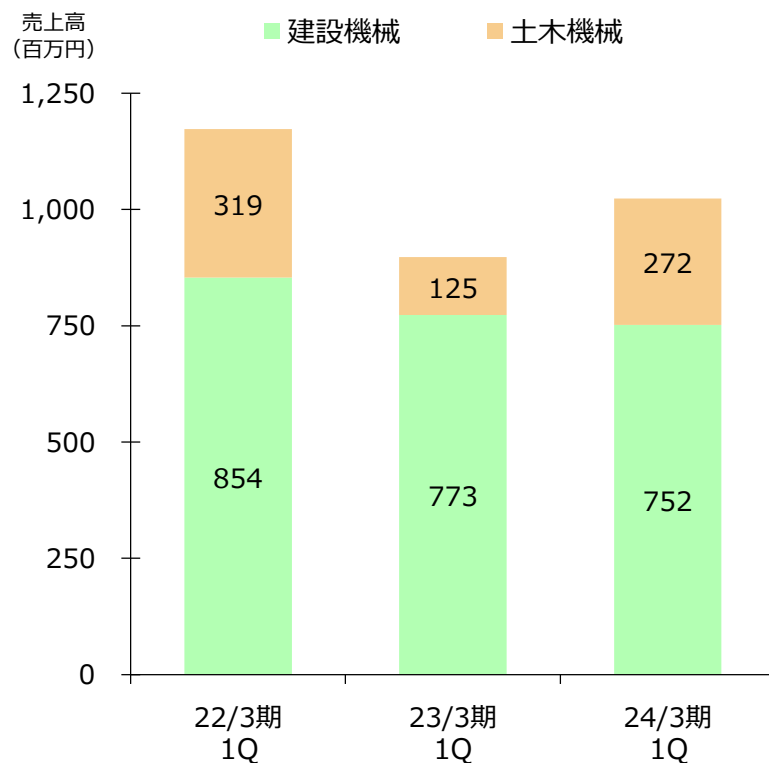
機械事業

- 建設機械は、本体販売や消耗部品が減収、プラント販売も減収。精密機械加工は前年並み。
- 土木機械は、本体販売が国内外共に増収。
- 営業利益は、売上高の増加が要因で、59百万円増益。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

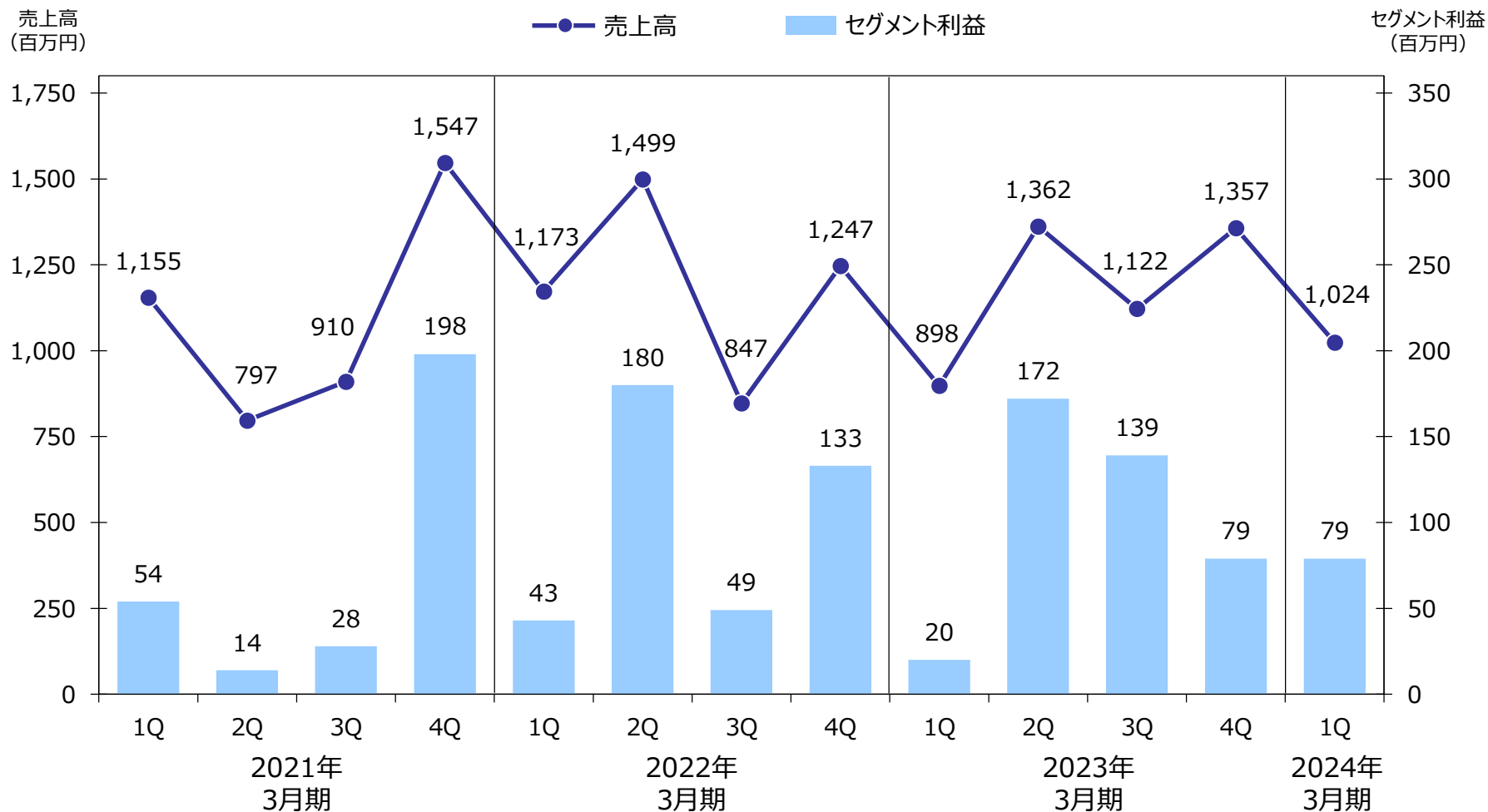


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

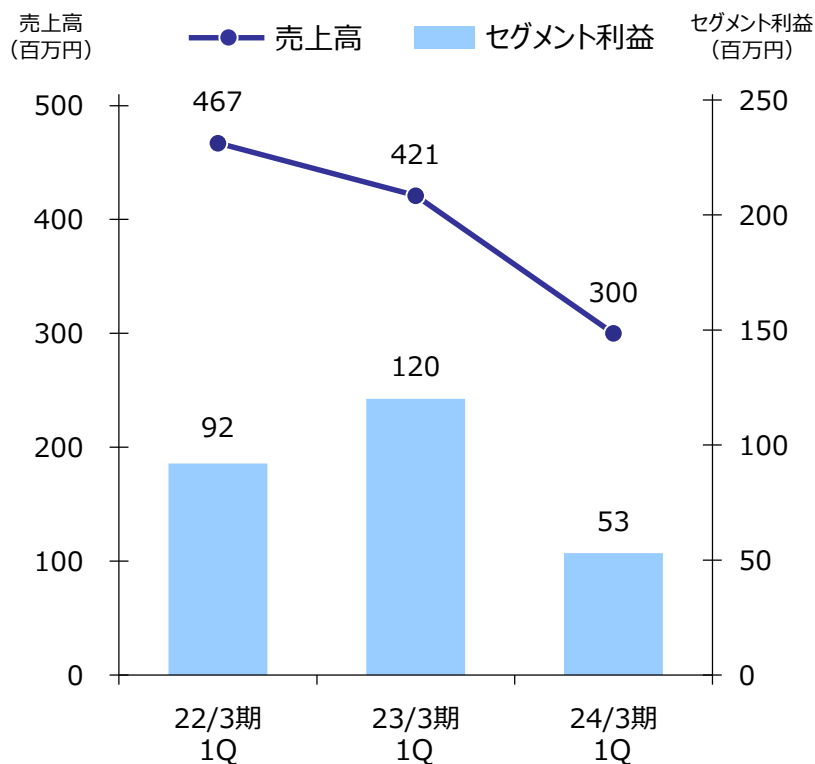
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



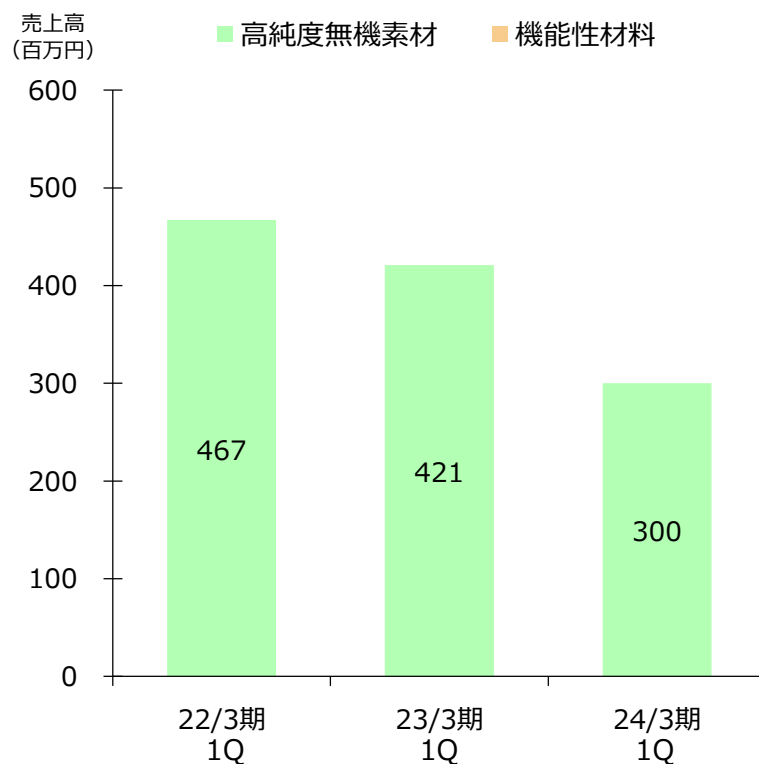
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、ガリウム、インジウム等が市況の悪化を受け大幅な減収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、55.6%の大幅減益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

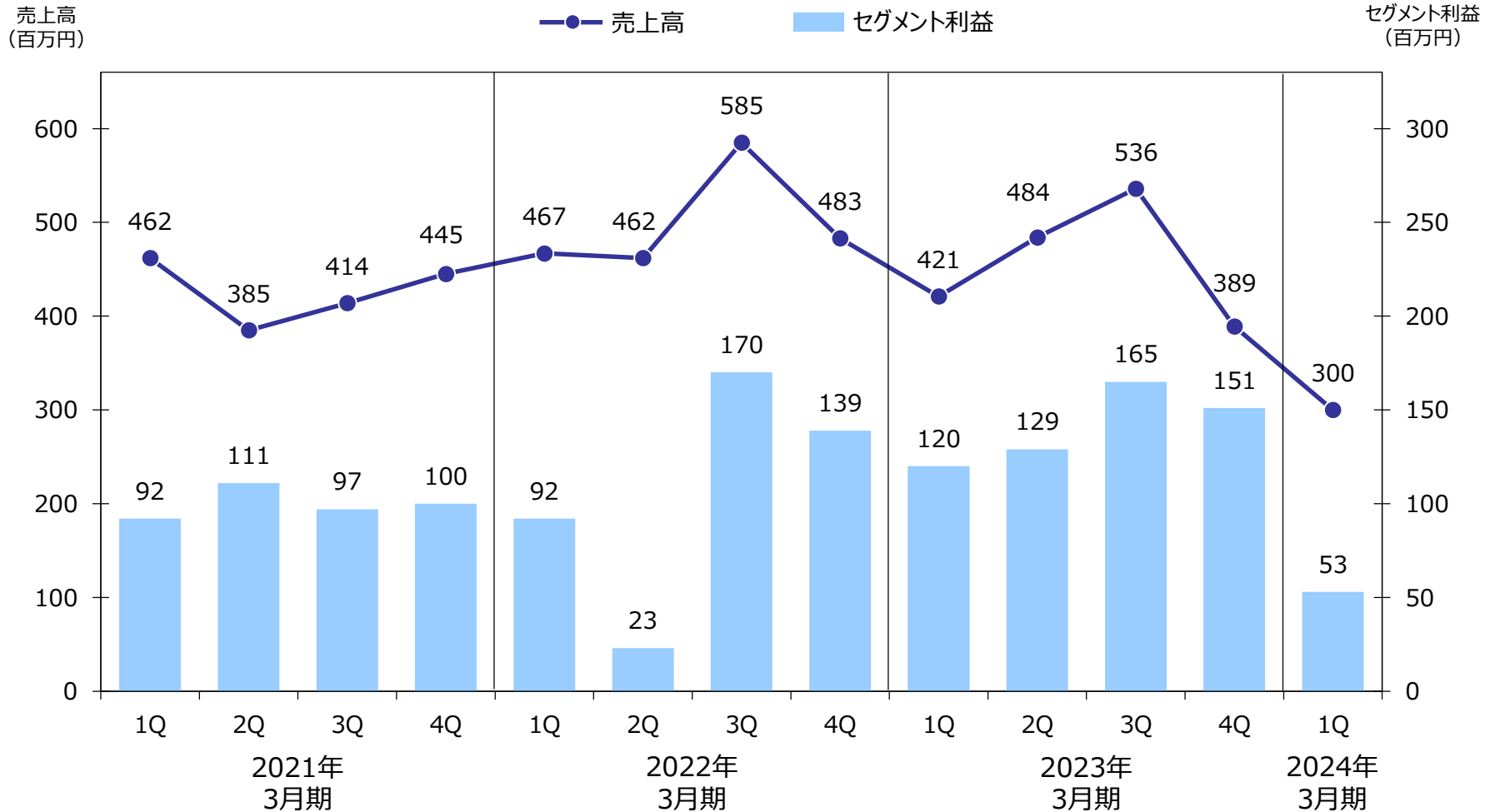


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3期 第1四半期	2024/3期 第1四半期	増減	前年同期比
売上高	12,110	10,380	△ 1,730	△ 14.3%
売上原価	9,547	8,553	△ 994	△ 10.4%
販売費・一般管理費	1,169	1,176	7	0.6%
営業利益	1,392	650	△ 742	△ 53.3%
営業外収益	195	115	△ 80	△ 41.0%
営業外費用	80	100	20	25.0%
経常利益	1,507	665	△ 842	△ 55.8%
特別利益	—	137	137	—
特別損失	29	—	△ 29	—
税金等調整前四半期純利益	1,477	803	△ 674	△ 45.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,011	545	△ 466	△ 46.1%
（減価償却費）	448	463	15	3.3%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2023/3月末	2023/6月末	増減
流動資産 計	25,564	24,644	△ 920
現金及び預金	4,940	4,844	△ 96
受取手形及び売掛金	11,303	10,583	△ 719
たな卸資産 ※	8,364	8,635	271
固定資産 計	21,987	22,364	376
有形固定資産	17,893	17,665	△ 228
無形固定資産	40	54	14
投資その他の資産	4,053	4,645	592
流動負債 計	15,737	15,773	36
支払手形及び買掛金	5,524	5,103	△ 421
短期借入金	7,147	7,150	3
固定負債 計	8,563	8,032	△ 531
長期借入金	5,021	4,491	△ 529
退職給付に係る負債	3,165	3,168	3
純資産	23,252	23,203	△ 48
自己資本	23,125	23,072	△ 53
非支配株主持分	126	131	5
総資産	47,552	47,009	△ 543
＜自己資本比率＞	48.6%	49.1%	0.5%

※ たな卸資産＝商品及び製品＋仕掛品＋原材料及び貯蔵品

2024年3月期の業績予想

- 化成品事業は、電子部品関連市場の調整局面が上期中は続くと想定、下期より徐々に回復を見込むが、通期では大幅な減収減益を見込む。
- 機械事業は、下水道関連の掘進機が海外向け販売の回復、破碎関連機械がプラント工事の販売増により、増収増益を見込む。
- 電子材料事業は、ガリウムなどはユーザーの在庫調整の影響が想定されるが、高純度赤燐は爆発事故の生産停止影響が無くなることから増収、利益は小幅な減益を見込む。

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期予想	増減	前年同期比
売上高	49,600	48,400	△ 1,200	△ 2.4%
化成品事業	41,918	39,000	△ 2,918	△ 7.0%
機械事業	4,739	6,200	1,461	30.8%
電子材料事業	1,830	2,050	220	12.0%
その他の事業	1,112	1,150	38	3.4%
営業利益	4,622	3,600	△ 1,022	△ 22.1%
化成品事業	4,115	3,100	△ 1,015	△ 24.7%
機械事業	410	550	140	34.1%
電子材料事業	565	500	△ 65	△ 11.5%
その他の事業	681	700	19	2.8%
全社費用など	△ 1,149	△ 1,250	△ 101	—
経常利益	4,690	3,600	△ 1,090	△ 23.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,232	2,600	△ 632	△ 19.6%
1株配当金	82.00円	82.00円	0円	0.0%

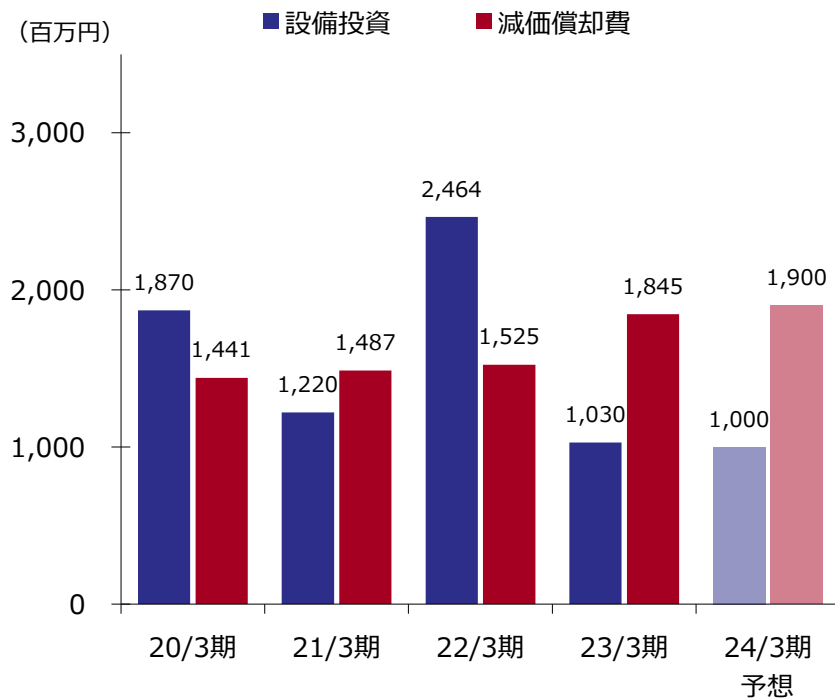
想定為替レート

130円/USD

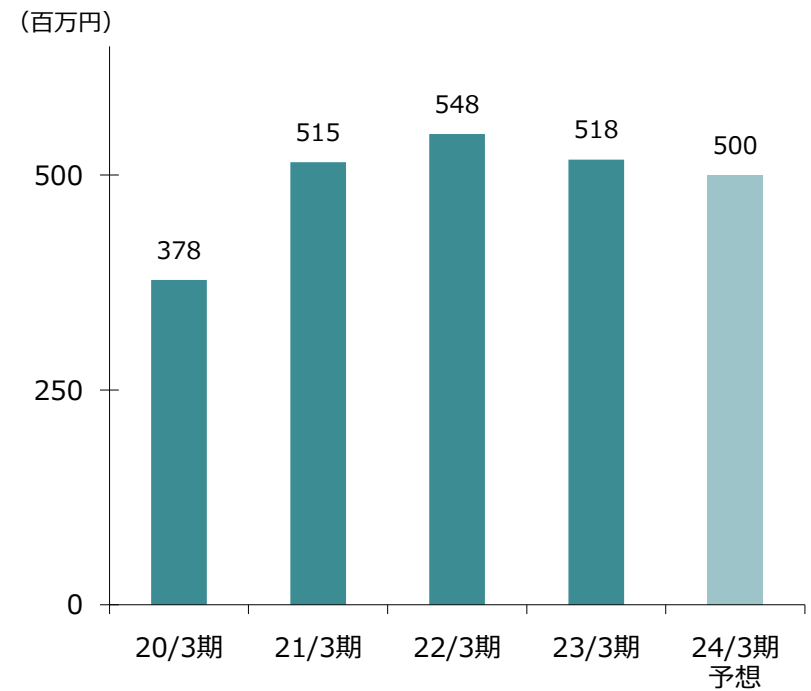
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、半導体向け高純度燐酸の増産対応が一巡し、2023年3月期および2024年3月期は、維持更新投資が中心。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

設備投資・減価償却費



研究開発費



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835